

## ●第35回シンポジウム

日時：5月14日(火) 13:00~17:00

場所：小樽商科大学

実行委員長：勅使河原可海(創価大学)

オーガナイザー：川島幸之助(NTT)

テーマ：「マルチメディアとその活用」

プログラム：

13:00-13:45 「マルチメディア活用マーケットの現状と今後への期待」

甲斐荘泰生(さくら総合研究所)

13:45-14:30 「自治体とネットワーク」

松井啓之(東京工業大学)

14:30-14:45 休憩

14:45-15:30 「インターネットの教育への利用」

渡部和雄(静岡県立大学)

15:30-16:15 「マルチメディア時代に向けた情報通信ネットワーク」

岸本登美夫(NTTエレクトロニクステクノロジー)

16:15-17:00 「放送をめぐるマルチメディアの動向」

榎並和雅(NHK放送技術研究所)

協賛：電子情報通信学会, 情報処理学会

参加費：正・賛助会員 3,000円, 学生会員 1,000円, 非会員 5,000円(協賛学会員は正会員に同じ)

当日受付にてお支払いください。

問合せ先：社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

## ●平成8年度春季研究発表会

日程：5月15日(水)~16日(木) 研究発表会

5月17日(金) 見学会

場所：小樽商科大学(小樽市緑3-5-21)

受付：ご出席の方は、当日、大会受付で参加費

(正・賛助会員 6,000円, 学生会員 2,000円, 非会員 10,000円)を添えて、ご登録ください。

実行委員長：若林信夫(小樽商科大学)

実行副委員長：遠藤 薫(小樽商科大学)

特別テーマ：「インフラとしてのOR」

ORは今や、現代社会のインフラストラクチャとし

て、ますます重要になっています。コンピュータネットワーク、金融、都市・交通計画、エネルギー供給、農林水産業等の基盤づくりに、ORは力を発揮してきました。今こそ、ORの存在理由を確認し、堅固なフレームワーク作りが必要と思われます。

今回の研究発表会ではこの点にスポットライトを当てて、特別セッションの中に各方面から幅広く、「インフラ」例を集めます。会員の皆さんにおかれましては、ORを一層発展させるためにこれらの発表に積極的に参加されるよう望みます。

特別講演：一般公開・入場無料

5月15日(水)一講師・テーマ変更一

山田家正(小樽商科大学学長)

「生物進化と情報」

5月16日(木)

山田郁夫(三菱総合研究所常務取締役)

「大規模激甚災害に対する広域防災について」

特別セッション：

次の5つのテーマを特別セッションとして、討論が十分できるように、発表時間を10分増しとします。

- インターネット(または、コンピュータ通信)のOR
- 金融のOR
- 地理的最適化のOR
- エネルギー(または、電力)のOR
- ORの将来

懇親会：

日時：5月15日(水)

場所：小樽商科大学 大学会館1Fカフェテリア 食堂

参加費：6,000円

大会受付にてお申し込みください。

見学会：

日時：5月17日(金)

(9:30小樽駅前集合 17:00新千歳空港解散)

見学場所：北海製罐小樽工場、札幌市篠路清掃工場・ゴミ資源化工場、サッポロビール北海道工場

参加費：4,000円(昼食代・貸切バス代を含む)大会受付にてお支払いください。

定員：45名(締切前に定員になった場合、その時

点で締め切る)

申し込み方法：昼食の予約の都合上、なるべく事前  
(5月10日頃まで)にFaxまたはE-mailで、小樽  
商科大学商学部社会情報学科山本充までお申し込  
みください。

Fax.0134(27)5381

E-mail: mitasu@otaru-uc. ac. jp

なお、事前の申し込み時には、「見学会参加希望」  
と明記し、さらに氏名・所属・住所・電話番号など  
の連絡先を明記してください。複数名で申し込む場  
合には、代表者のみ氏名・所属・住所・電話番号な  
どの連絡先を明記し、他は氏名のみで可。

申し込み締め切り：5月15日(水)

問合せ先：小樽商科大学(代表Tel.0134(27)5200)

加地太一(社会情報学科)

E-mail: kaji@otaru-uc. ac. jp

今 尚之(社会情報学科)

E-mail: kon@otaru-uc. ac. jp

### IFORS96視察団へのお誘い

#### ・国際委員会

1996年はIFORSの年です。今回はカナダのバン  
クーバーで7月8日から12日の間に開催されます。  
OR学会ではIFORS参加とシアトル近郊の企業見  
学をセットにしたツアーを企画しております。毎  
回15名から25名の代表団を派遣しておりますが、  
皆さんの参加をお待ちしています。この記事がOR  
誌に掲載されるころにはもっと確かな情報が提供  
できると思いますが、とりあえずは以下のような  
素案で現地と交渉中です。

期 間：1996年6月30日～7月14日

日程概略：6月30日 シアトルへ向け出発

7月1日～4日 シアトルで企業訪問

ボーイング社 CALSにからめて

ウェアハウザー社(木材会社で古くから

ORで有名)

マイクロソフト社

7月5日～6日 バンプ観光

7月7日～13日 IFORS参加

7月13日 成田へ 14日着

参加費用(予定)：890,000円(企業参加)

640,000円(個人参加)

IFORS登録料は別途かかります。

ご質問のある方は若山邦紘(国際委員会、法政  
大学)までお尋ねください。

Fax.0423(87)6348

E-mail: waka@waka. is. hosei. ac. jp

### ●研究部会・グループ開催案内

[意思決定とOR]

日 時：5月24日(金) 13:00～17:00

場 所：富山商船高等専門学校

(富山県新湊市海老江練合1-2)

Tel.0766(86)5100)

テーマと講師：

(1)「On Behavior of Fuzzy Optimal Solutions for  
a Fuzzy Single-Objective Linear Programming  
Problem」 桑野裕昭(金沢女子短大)

(2)「時系列分析法の需要予測への適用」

林 清隆(富山情報通信専門学校)

(3)「Continuous Accumulation Games」

William H. Ruckle(Clemson University)

問合せ先：

成瀬喜則(富山商船高等専門学校)

Tel.0766(86)5212 Fax.0766(86)5110

[オープンネットワークと情報活用]

日 時：5月30日(木) 18:00～

場 所：NEC本社ビル 2F会議室

テーマと講師：「マルチメディア時代のワークス  
タイルについて」

佐藤昭雄(NEC C&Cシステム市場開発本部  
テレワーク専任部長)

問合せ先：東京工業大学 工学部 松井啓之

Tel.03(5734)3191 Fax.03(5734)2926

[イノベーション]

日 時：5月11日(土) 14:00～17:00

場 所：ワーカーズ・サポート・センター 603室

(旧東京都勤労福祉会館)

中央区新富1-13-14

テーマ：「イノベーション」第2回

日 時：6月8日(土) 14:00～17:00

場 所：ワーカーズ・サポート・センター 603室

テーマ：「イノベーション」第3回

問合せ先：上田亀之助(上田イノベーション研究所)

Tel.03(3351)4023

### ●第36回シンポジウム

日 時：11月6日(水) 13:00～17:00

場 所：大阪工大摂南大学創立60周年記念館

(大阪市旭区大宮5-16-1)

テーマ：「変革期の経営環境と意思決定」

実行委員長：山根敬三（摂南大学）

講師：①宇野 収（前 関西経済連合会会長，東洋紡績(株)相談役）

②松島悠佐（前 陸上自衛隊中部方面総監，ダイキン工業(株)顧問）

③瀬尾芙巳子（摂南大学経営情報学部教授，京都大学名誉教授）

●平成8年度秋季研究発表会

日程：11月7日(木)～8日(金) 研究発表会

11月5日(火) 見学会 (13:30～17:00 松

下電工(株)と松下電器産業(株)技術館)

場所：大阪工大摂南大学創立60周年記念館

(大阪市旭区大宮5-16-1)

実行委員長：栗山仙之助（摂南大学）

特別テーマ：「変革のOR」

発表申し込み締め切り：7月31日(水) 必着

・アブストラクト送付先：〒565 吹田市山田丘2の1  
大阪大学大学院工学研究科応用物理学専攻数理情報工学講座 石井博昭  
Tel.06(879)7868 (直通)

・申込書等請求先：〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル3階 日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

研究発表は、申込書およびアブストラクトの提出をもって申し込み受付とします。

●平成9年度春季研究発表会

日時：平成9年4月2日(水)～3日(木)研究発表会

4月4日(金) 見学会

場所：九州大学文系講義棟

(福岡市東区箱崎6-10-1)

実行委員長：松山久義（九州大学）

●研究部会・グループ等の新設・継続申請審査過程について（研究普及委員会）

さきに募集を行ないました平成8年度研究部会・研究グループの新設または継続に対しては、今回も多数の申請書が提出されました。通常の研究部会、研究グループについては、活動の公開性、実績等に照らして審査を行ないました結果、以下の研究部会、研究グループを設定いたしました。

●平成8年度研究部会・グループ・特設研究部会

下記の部会・グループ（\*\*は8年度より新設，\*は常設）および特設研究部会が運営されますので、参加ご希望の方は各部会等の主査または幹事にご連絡ください。

	部会名	主査	幹事
*1	待ち行列	町原文明（NTT通信網研究所） 0422(59)4353	小沢利久（NTT通信網研究所） 0422(59)4593
*2	OR/MSとシステム・マネジメント	太田敏澄（電気通信大学） 0424(83)2161 ex.5271	難波和明（東京理科大学） 0471(24)1501 ex.3803
3	リエンジニアリング	梅沢 豊（東京大学） 03(3812)2111 ex.5530	山下達哉（富士短期大学） 03(3368)2154
4	ファイナンスのOR	古川浩一（東京工業大学） 03(5734)2245	枇々木規雄（慶応義塾大学） 045(563)1141 EX.3268
5	評価のOR	刀根 薫（埼玉大学） 048(858)3096	上田 徹（成蹊大学） 0422(37)3793
6	ORリテラシー	高井英造（静岡大学） 054(237)1111 ex.3701	垣花京子（東京家政学院筑波短期大学） 0298(58)4811
7	意思決定とOR	菊田健作（富山大学） 0764(41)1271 ex.2459	中島恭一（富山県立大学） 0766(56)7500
8	離散系シミュレーション	中野一夫（(株)構造計画研究所） 03(3348)0645	森戸 晋（早稲田大学） 03(5286)3331
9	高校生のためのOR	若山邦紘（法政大学） 0423(87)6348	田口 東（中央大学） 03(3817)1683
10	最適化モデル分析とその応用	岩本誠一（九州大学） 092(641)1101 ex.3763	川崎英文（九州大学） 092(641)1101 ex.4378
11	COMのための生産計画・スケジューリング	村松健児（東海大学） 0463(58)1211	西岡靖之（東京大学） 03(3481)4486

	部 会 名	主 査	幹 事
12	広域インフラストラクチャー計画に関するOR	高森 寛 (青山学院大学) 03(3409)8111 ex.2402	栗田 治 (慶應義塾大学) 045(563)1141 ex.3637
**13	最適化理論とその応用	石井博昭 (大阪大学) 06(879)7868	新森修一 (鹿児島大学) 099(285)8991
**14	マーケティング・モデル	守口 剛 ((財)流通経済研究所) 03(3494)2671	寺崎竜雄 ((財)日本交通公社) 03(3284)7123
**15	オープンネットワークと情報活用	勅使河原可海 (創価大学) 0426(91)8026	松井啓之 (東京工業大学) 03(5734)3191
**16	グローバル政策	片山隆仁 (防衛庁防衛局) 03(3408)5211 ex.3226	中井史郎 (株)日本ヒューレット・パッカード) 03(3335)8331
**17	ファジィ動的計画法	小田中俊男 (北海道情報大学) 0425(72)9724	蔵野正美 (千葉大学) 0472(51)1111

	グループ名	主 査	幹 事
1	自動車市場の計量分析	国澤清典 (東京理科大学) 0471(24)1501	上田恭嗣 (東京国際大学) 0492(32)1111 ex.492
2	高度情報化社会における交通・流通	忍田和良 (朝日大学) 058(326)6131	野末尚次 ((財)鉄道総合技術研究所) 0425(73)7306
3	電力OR	鈴木道夫 ((財)電力中央研究所) 03(3480)2111	大屋隆生 ((財)電力中央研究所) 03(3480)2111
**4	イノベーション	上田亀之助 (上田イノベーション研究所) 03(3351)4023	石井充夫 (株)長野計器製作所) 045(373)6380
**5	組合せ最適化	片岡靖詞 (防衛大学校) 0468(41)3810 ex.2270	繁野麻衣子 (東京工業大学) 03(5734)3219
**6	ORソフトウェア	八巻直一 (株)システム計画研究所) 03(5489)0211	宮田雅智 (青山学院女子短大) 03(3409)8111
	特別研究部会	主 査	
1	数理計画法研究会	茨木俊秀 (京都大学) 075(753)5504	
	〔幹事〕 田口 東 (中央大学) 03(3817)1683, 森戸 晋 (早稲田大学) 03(5286)3331 矢部 博 (東京理科大学) 03(3260)4271, ex.3560, 山本芳嗣 (筑波大学) 0298-53-5001 福島雅夫 (京都大学), 075(753)5519, 石井博昭 (大阪大学) 06(879)7868, 加藤直樹 (神戸商科大) 078(794)6161, 茨木 智 (京都大学) 075(753)4921		

●新設部会・グループ案内

〔最適化理論とその応用〕

最適化はORのまさしく中心的研究テーマの1つである。しかし、いわゆる“物理的最適化”は、この価値観が多様で不確定な時代には真の意味の最適化とは必ずしもならない。すなわち、地球規模、社会的観点から、最適化を考えなければならない。最適化の理論的構成においても、それが実際に応用される場面を想定して考える必要がある。このような問題意識のもとに、最近の数理計画の理論的展開とそれらの実際の応用の情報交換を中心に活動する予定である。平均して月1回弱の集まりで、場所は大阪を中心に開きたい。

〔マーケティング・モデル〕

近年、POSデータの普及等の流通情報化の進展によ

り、計量的アプローチによるマーケティング研究の必要性、有効性が増大しています。このため、マーケティングの領域においても、OR・統計の手法が有効なツールになり得ると考えられてきています。個人のブランド選択行動を確率過程として捉えたモデル化等がその一例です。そこで本部会では、マーケティング・モデルをテーマとし、モデル構築上の問題点の整理、実証分析によるモデルの有効性の検討等を行ないたいと考えています。マーケティングの実務家、研究者、OR・統計の専門家等、さまざまな立場の方々のご参加を期待しております。

〔オープンネットワークと情報活用〕

情報ネットワークのオープン化に伴い自由に情報にアクセスできるユーティリティとしてのオープンネットワークを対象として以下の3点について研究を進め

る。

- ①オープンネットワーク（インターネット等）とそれを用いた情報活用が、個人、企業、産業界に及ぼす影響
- ②企業内、企業間（国内、海外）、産業界（国内、海外）におけるオープンネットワーク（EDI、CALS等）の構築と有効活用の仕方
- ③最新のオープンネットワークに関する技術動向の把握

〔グローバル政策〕

情報化社会の高度化に伴い、政治・経済・文化・環境等あらゆる分野でグローバル化が進んでいる。貿易や企業の海外進出はもちろん、環境汚染・生態系維持、麻薬やテロ、外国人労働者や異文化共存など問題は枚挙にいとまないほどである。経済大国日本もまた世界の視野に立った役割が強く要求され、一国の枠組みで議論することは許されない状態にある。

本部会では、21世紀を迎えるにあたり、グローバル化が顕著な領域について、その実態を探り、未来を模索する中で、本問題を考える共通の土台づくりを計画している。問題は広範かつ複雑であるが、地球的・国家的にも、企業や個人にも、性別・年齢別を問わず極めて重要なテーマと考える。関心を持って参画されすことを期待します。

〔ファジィ動的計画法〕

われわれは休日に出し、最適ドライブコースを選択することは可能であると思ひ、かつこれはファジィ意思決定過程を用いて到達可能であると認識している。ほかにも政策意思決定、経済計画、地域と人間関係などに対しても、段階から段階への状態寫像はファジィであることを経験的に知っている。一方、人間知能の陳述は総体的に簡単な鎖に制限され、従って複雑な多段階決定問題は簡易化せざるを得ない。これはファジィ

ィ状態寫像、ファジィ制約、ファジィ目的をもつシステムに対する動的計画法（DP）の必要性を要請することになる。本研究会の目的は上に述べた問題意識に基づいてファジィ動的計画法を研究することである。

〔イノベーション〕

人類の先祖は立って歩くこと、火を使うこと、道具を使うことなどという「イノベーション」を行なうことにより猿から別れて文明を築きました。人間が人間として生き続けるためには、さらに絶えざるイノベーションを追加する必要があります。平和ばけをしたり、バブル景気に酔いしれて、イノベーションを怠りますと、その咎めは、直ちにバブル崩壊の不況とか海外との自由競争の敗者になってしまう破目に陥ることになってしまいます。技術・研究開発・政治・経済・経営・教育とあらゆる分野において、われわれは常に「イノベーション」に努めなければなりません。

〔組合せ最適化〕

組合せ最適化を中心に、指導者・研究者・学生が一堂に会し、理論や応用についてゼミ形式で討議する。各会のテーマは、担当の発表者が提示する。

開催は、2ヵ月に一度程度、土曜日の午後2時から5時あたりに行なう。場所はそのつど、別途連絡する。

ひとつの問題に対する効果的なアプローチは、一意に定まらない。この研究会では、同一のテーマに対し、さまざまな視点を持つ人々と議論を深めることにより、広い視野で研究を進めることができる。特に学生どうしは、研究を通じて交流が深まり、将来の研究・学会を担う組織的基盤の構築も期待される。

〔ORソフトウェア〕

本研究グループは、ORに有用なソフトウェアやアルゴリズムを、紹介あるいは研究することを目的として活動している。主としてモデリング環境の研究で成果を期するように配慮する。

年間10回程度の研究会を開催予定である。また、原則として研究発表会には成果を報告する。

●会合案内

〔第158回新宿OR研究会〕

日 時：5月21日（火） 12：00～13：30  
 場 所：レストラン・レダ（新宿センタービル53F）  
 テーマ：Global Engineerの養成  
 講 師：今井兼一郎（OR学会フェロー・QC学会名誉会員・日本工学教育協会副会長）  
 参加費：3,000円

●会員名簿刊行のお知らせ 日本OR学会

1995年版の会員名簿（会員限定）が発刊されました。E-mail addressも登録され、3年ぶりの改定版です。購入ご希望の会員の方には、1冊4,000円でおわけいたします。FAXもしくはハガキでお申込みください。（消費税は非課税です）

氏名・会員番号・代金支払方法（振込でお願いいたしますが、請求書等必要の有無など）をご記入ください。

〔第36回丸の内OR研究会〕

日時：5月20日(月) 18:30~21:00

場所：学士会館(神田錦町3-28)

テーマ：21世紀への情報化戦略

講師：市原達朗(オムロン・アルファテック(株)代表取締役社長)

参加費：丸の内OR研究会会員(無料)

非会員(4,000円)当日受付でお支払いください。ただし、参加については1週間前までにお問い合わせください。

問合せ先：トーマツ・コンサルティング(株) 松下芳生  
Tel.03(3457)6745

●助成案内

・電気通信普及財団平成8年度福祉文化事業援助

助成対象分野：電気通信を利用した福祉、文化事業、電気通信に関する学術交流および国際協力

受付期間：5月1日~5月31日(一部については9月30日まで)

問合せ先：〒105 港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5F 電気通信普及財団(Tel.03(3580)3411)

・電気通信普及財団平成8年度海外渡航旅費援助

助成対象：海外の学会で電気通信に関する研究発表を行なう研究者等

受付期間：各偶数月の1日(必着)までに翌月10日から1年先までの旅行について申込を受け付ける。

問合せ先：電気通信普及財団(上記参照)。

・トヨタ財団1996年度研究助成

助成対象分野：多元価値社会の創造に関連するもの(多様な文化の相互理解と共存、新しい社会システムの提案、これからの地球環境と人間生存の可能性、

市民社会の時代の科学・技術)

助成対象：個人、共同研究組織

応募締切：5月31日(金)

(申請用紙は5月17日(金)までに請求のこと)

問合せ先：(財)トヨタ財団研究助成係

〒163-04 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

私書箱236号 Tel.03(3344)1701

●公募案内

・神奈川工科大学電気電子工学科

募集人員：電気電子工学科 教授、助教授または専任講師 1名

専門分野：通信工学(デジタル通信方式、通信網、デジタル回路)

担当予定科目：電気通信工学I, II

応募資格：博士号取得者、年齢30~50歳程度

着任時期：平成8年9月以降のできるだけ早い時期

応募締切：8月31日(土)

提出書類：履歴書、研究業績リスト、他詳細は問合せのこと

問合せ先：〒243-02 厚木市下荻野1030

神奈川工科大学工学部電気電子工学科 中神隆清

TEL.0462-41-1211(内線3388), FAX.0462-42-6089

nkgm@ele.kanagawa-it.ac.jp

・大阪府立大学経済学部経営学科

募集人員：教授1名

●平成8年度会費納入のお願い(事務局)

平成8年度の会費請求書をすでにお送りいたしましたので、ご送金くださるようお願いいたします。なお、7年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

〔預金口座振替ご利用の方へ〕

平成8年度から預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

特別講演変更のお知らせ

(春季研究発表実行委員会)

春季研究発表会第1日目、5月15日(水)開催の特別講演は、下記のとおり変更になりましたのでお知らせいたします。(一般公開・入場無料) 記

講師：山田家正(小樽商科大学学長)

テーマ：「生物進化と情報」

要旨：生物は細胞レベルにおいても個体レベルにおいても、当然のことながら情報の応答があり、それによって互いに異同の識別を行っている。進化の過程で、異なった生物同士が食う食われるの熾烈な戦いを経て、やがて共存していく状況が幾つかの例で推論されるようになってきた。このような生物進化の過程をみると、地球の将来と我々人類の生き方を考える上で多くの示唆を与えてくれると思われる。

**専攻分野:** マーケティング論

**応募資格:** 上記専攻分野に関する博士の学位を有する者またはそれに準ずる教育研究上の業績を有する者であって、50歳以上の者。

**着任時期:** 平成9年4月1日

**応募締切:** 平成8年5月31日(当日消印有効)

**提出書類:** 履歴書, 研究業績リスト, 著書または論文の別刷他。詳細については問合せのこと。

**書類提出先:** 〒593 堺市学園町1-1

大阪府立大学経済学部 学部長 前田英昭宛

**問合せ先:** 大阪府立大学経済学部 学務係

(文書でお願いします。ファックスの場合は、

FAX: 0722-55-1629)

・静岡大学工学部システム工学科

**募集人員:** 教授2名, および助教授または講師2名

**担当科目:** システム工学, シミュレーション技法, 数理モデリング

**応募資格:** 博士の学位を有する者(含 取得見込み者)

**着任時期:** 平成8年10月1日以降できるだけ早い時期

**応募締切:** 6月28日(金)

**提出書類:** 履歴書, 教育研究業績目録, 主要論文別刷他 問合せのこと

**問合せ先:** 〒432 浜松市城北3-5-1 静岡大学工学部システム工学科 竹内康博

Tel.053(478)1200, <http://www.sys.eng.shizuoka.ac.jp/>

## ●他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の

会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・計測自動制御学会関西支部講習会「マルチエージェントを考える」(協賛)

**主催:** 計測自動制御学会関西支部

**日時:** 6月18日(火)

**場所:** ホテル・アウィーナ大阪

**問合せ先:** 神戸大学工学部情報知能工学科 石堂正弘  
Tel.078(803)1196, Fax.078(803)1217

E-mail: [ishido@in2sparc.in.kobe-u.ac.jp](mailto:ishido@in2sparc.in.kobe-u.ac.jp)

・システム制御情報チュートリアル講座'96

「実務者のためのスケジュールリング技術」(協賛)

**主催:** システム制御情報学会

**日時:** 7月17日(水), 18日(木)

**場所:** (東京) 住友電設(株) 東京本社会議室(東京都港区), (大阪) 住友電設(株) 大阪本社会議室(大阪府西区)

**問合せ先:** 〒606 京都市左京区吉田河原町14番地

近畿地方発明センタービル内システム制御情報学会  
Tel.075(751)6413, Fax.075(751)6037

・生産スケジュール・シンポジウム'96(共催)

**主催:** 日本経営工学会

**日時:** 10月3日(木)

**場所:** 名古屋工業大学(名古屋市昭和区)

**発表申込締切:** 5月31日(金)

**問合せ・申込先:** 〒466 名古屋市昭和区御器所町名古屋工業大学生産システム工学科 大野勝久

Tel. & Fax.052(735)5390, E-mail: [ohno@system.nitech.ac.jp](mailto:ohno@system.nitech.ac.jp)

## ●新入会員

### —正 会 員—

- \*石川 宏 01013070 NTTネットワーク部
- \*石塚 美加 01013080 NTT通信網研究所通信トラヒック研究部
- \*磯部 俊吉 01013090 郵政省 郵政研究所技術開発研究センター
- \*市川 誠 01013170 清水建設(株) 機械本部メカトロニクス技術開発部
- \*今井 和孝 01013180 (株)東芝
- \*岡野 裕之 01013100 日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所
- \*貝川 健一 01109545 中国電力(株)
- \*河野 高洋 01109550 秩父小野田(株) 技術部プロセス制御グループ
- \*京屋 祐二 01109570 (株)東芝 研究開発センターシステム・ソフトウェア生産技術研究所開発第二部

- \*木村 富美子 01109560 創価大学 システム科学研究所  
 \*黒井 光 男 01109582 東北電力(株)  
 \*木場 正 信 01109530 (株)三菱総合研究所 システム科学部  
 \*佐伯 修 01206864 大阪大学 工学部電気工学科  
 \*佐渡友 秀 夫 01206870 三井東圧化学(株)  
 \*昇高 茂 樹 01206920 東京都立科学技術大学 生産情報システム工学科  
 \*関 庸 一 01206880 群馬大学 工学部情報工学科  
 \*千葉 雅 保 01307692 (学)文理学院  
 \*二宮 祥 一 01405060 日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所  
 \*林 善 士 01506680 NTT通信網研究所第一プロジェクト  
 \*福山 敬 01506695 鳥取大学 工学部社会開発システム工学科  
 \*前田 忠 昭 01605820 東京ガス(株) 西部事業本部  
 \*増沢 洋 一 01605830 (株)東芝 情報システム部経営情報システム推進担当  
 \*松林 伸 生 01605850 NTT  
 \*山田 慈 朗 01704380 NTT通信網研究所通信トラヒック研究部  
 \*和多田 康 男 01900895 宇部興産(株) 橋梁鉄溝技術本部技術部  
 \*安達 康 生 02004174 大阪大学 大学院工学研究科博士後期課程経営工学専攻  
 \*石村 麻 紀 02004180 法政大学  
 \*今村 佳 世 02004194 大阪大学 基礎工学部システム工学科  
 \*呉 小 碯 02991611 北海道大学 大学院経済学研究科経営学専攻  
 \*久保 貞 也 02102764 大阪工業大学 大学院  
 \*坂内 康 親 02202320 工学院大学  
 \*島川 陽 一 02202330 中央大学 大学院理工学研究科情報工学専攻田口研究室  
 \*白井 裕 02202350 足利工業大学 大学院工学研究科博士課程後期情報・生産工学専攻  
 \*鈴木 篤 02202340 東京大学 工学部金属工学科  
 \*田島 博 之 02302160 創価大学 大学院工学研究科古川研究室  
 \*津留崎 和 義 02302176 九州大学 大学院経済学研究科経済工学専攻  
 \*那須 靖 司 02401640 防衛大学校 情報工学教室理工学研究科  
 \*縫野 欽一郎 02401630 工学院大学  
 \*平本 洋 一 02501940 横浜国立大学 大学院国際経済法学研究科修士課程  
 \*藤田 耕 一 02501920 東京理科大学 理工学部経営工学科  
 \*星崎 康 広 02501930 早稲田大学 理工学部工業経営学科森戸研究室  
 \*松本 隆 宏 02601840 法政大学  
 \*三田 和 哲 02601850 東京大学 工学部金属工学科  
 \*山岸 晋 作 02701550 東京理科大学 理工学部経営工学科

—賛助会員—

- \*NTT移動通信網(株) 03000470 代表者 通信技術システム部長 森下 俊三  
 連絡者 通信技術システム部サービス管理担当部長 岩本 眞  
 \*第一生命保険(相)法人契約設計部 03300740 代表者 副長 枇杷 高志  
 連絡者 副長 枇杷 高志